

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月14日

【評価実施概要】

事業所番号	272300880		
法人名	有限会社セイリュウ		
事業所名	グループホームもみじの森		
所在地 (電話番号)	〒036-0242 青森県平川市猿賀石林37-3 (電話) 0172-43-5213		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 10月 31日	評価確定日	平成 21年 1月 14日

【情報提供票より】(平成20年8月24日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 12月 15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	16人, 非常勤 0人, 常勤換算 12.4人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	12,000 円	その他の経費(月額)	7,500~冬期10,500 円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,050 円		

(4) 利用者の概要(8月24日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	3 名	要介護2	5 名		
要介護3	5 名	要介護4	3 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 77.3 歳	最低	59 歳	最高	87 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 新緑会 花田医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームの周りは林檎畑に囲まれ、近隣には猿賀神社や盛美園があり緑の美しい場所に立地している。また、利用者や家族、来訪される方を歓迎するように玄関には季節の花が整備されている。職員は本人やご家族の意向に添いながら、真剣に向き合い、また柔軟な姿勢が伺える。最後まで利用者が安心して生活できるよう支援されており、それが利用者の穏やかな表情にあふれていた。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価の改善課題について話し合いが行われ、課題に取り組み、改善が見られているが、理念についてはまだ具体性に欠けるため検討される事が望まれる。また感染症等のマニュアルの作成や職員の外部の研修、計画的な内部の勉強会等の充実が望まれる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員は外部評価について理解され、その項目について話し合いを行い、改善に向けて積極的に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	公民館長、自治会長、民生委員、市職員、家族、入居者と参加メンバーも幅が広く、ホームの行事や栄養面、運営の報告と共に、様々な観点から意見や提案が出され、サービス向上に取り組んでいる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)
	ホームの広報、家族が来訪される毎に利用者の生活状況を報告し、利用者の希望や要望を話しあう機会を設けている。必要な時には電話でその都度連絡をする等家族との連携は密に行っており、信頼関係の構築に努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の行事や、近隣の学校や保育園の行事への参加を計画したり、ホームの行事である納涼祭に民生委員の訪問や利用者の友人が遊びに来てくれたり等、地域への参加と共に、地域の方をホームにお招きすることによりホームの理解が得られるように取り組んでいる。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	平成20年4月に地域密着を念頭に新しく理念を作成しているが、具体性に欠ける内容となっている。		現在の理念をもとに、ホーム独自のより具体的な理念の構築に期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者・職員ともに、目標にしていることは同じであり、毎日のミーティングで話題にし共有されている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	納涼祭に民生委員や利用者の友人を招き、その機会を利用して、グループホームの理解を深めてもらえるよう努力している。また、地域の学校や保育園の運動会への参加を計画されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>全職員で自己評価し、また外部評価を通して話し合いが持たれ、改善すべきところは改善しサービスの向上に取り組まれている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>公民館長・自治会長・民生委員・市職員・家族の代表・入居者等をメンバーに、2ヶ月に一回開催されていて、外部評価について報告したり、意見や提案を求めたりしている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議のほかに、保健師から健康面や栄養面など、アドバイスを受けるなど、積極的に窓口へ行きサービスの質の向上につなげるように努力している。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>入居者で利用されている方がいるので、職員が勉強する機会も多く、理解している。利用が必要な方へは活用できるような支援体制ができています。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員はお互いに「虐待はしてはいけないことだ」と認識を持ちながら仕事をしている。</p>		<p>より実践的な話し合いや文章化を通じて職員全員に理解を徹底させる取り組みに期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項説明書を基に説明を行い、利用者・家族の納得のうえ契約をしている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>2ヶ月に一回の事業者からのお便りや、面会時に利用者の生活状況を報告している。なかなか面会に来られない方へは、電話でその都度報告している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族が意見・要望を出せるように意見箱を設置している。また、面会時や運営推進会議等で、意見を出してもらい、運営に反映させている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>開設以来退職者もほとんどいなく、入居者との信頼関係が築かれている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修が行われているが、職場外研修への参加が少ない。		計画的な外部研修への参加をしながら、報告を通してさらに職員が学んでいくことを期待したい。
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ケアマネを中心にネットワークを持ち勉強し、資料を職員に回覧して質の向上を図っている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	希望があれば一泊の体験利用をしてもらい、納得の上の入居となっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常会話や軽作業を通して入居者の方からいろいろ教わりながら、日々生活するようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者本人や家族からの話を参考にして意向の把握に努め、全職員がケース会議のときに意見を出し合い、共通認識を持っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者本人・家族からの意向はもちろん、日々の生活から職員が得た情報を出しあいながら介護計画を作成している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に一度の見直しと、心身状況の変化により状態が変わったときに見直し対応がなされている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	法人内に看護師が勤務しているので、連絡をとりながらアドバイスをもらったり、一日体験利用ができるなど、ご家族や地域の要望には可能な限り対応していくように努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人やご家族の意見を大切に、入居以前に診察を受けていたかかりつけ医に、継続して受診できる体制がとられている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>継続して入居する為の条件を入居時点でも説明し、重度化したときは、かかりつけ医とも相談のうえ、特別養護老人ホームへの申し込みや、紹介をしながら、本人にとって良いと思われるところを、ご家族とともに探すなどの対応をされている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人記録などは部外者の目の届かないところに保管し、個人に対しての言葉かけや対応なども、他利用者が気付かないように配慮している。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者個々の出来る事を職員と一緒にいながら、本人のペースに合わせた生活支援が行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食材を切る、皮をむくなどの準備を楽しそうに行っており、食器を拭くといった食後の片付けも行っている。また、本人の状態により食事形態も変えて食べやすく調理されている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>本人の希望があればいつでも入浴したり、シャワー浴ができるように対応している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>畑での野菜作りや食事の準備などの役割を持ってもらったり、散歩やご家族の協力で遠出外出をしたりするなど、一人ひとりの希望がかなえられるように支援されている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>散歩に出かけたり、近くへ買い物に出かけたりなど外出の機会を作るように支援されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>権利擁護について勉強しており、「身体拘束はしない」との意識を持っている。</p>		<p>「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」についても全職員が正しく理解されることを期待したい。</p>
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関や居室、ホールから屋外へも出れるようにして、二つのユニットの入居者が交流できるように、また窓越しにお互いが見えるようにできていて、開放的に感じられる。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけを行っている</p>	<p>通報・消火訓練を年2回行っており、全職員が消火器操作を習得している。また、火災報知機の設置も完了している。地域の協力が得られるよう働きかけを行っている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>市の栄養士の指導を受け、栄養バランスや水分量が確保できるように把握し、献立作成をしている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症に対しての簿冊はあったが、対応策などの記載が不足している。</p>		<p>マニュアル作りをして、万が一発症した時に、感染者を増やさないように対応策を全職員で、熟知しておくことに期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>床は物音や足音に配慮しクッションフロアになっており、吹き抜けの天窓を設け心地よい空間になっている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が使いやすいように、ベット、ソファ、テレビの持込みがあり、また趣味の作品などが飾られているなど、生活観が出ている。</p>		

 は、重点項目。